

オスモカラー

OSMO COLOR

施設実績集 [パブリック編]



木は 自然からの 贈りもの

“木を愛し 木を活かす”
それが、わたしたちの願いです

木は古来より住居、家具、楽器などの材料として、
広く人間の生活に溶け込んできました。
これは木が持つさまざまな特長が、
人々に愛されてきたためにほかなりません。



WE LOVE WOOD, WE LOVE NATURE.

木には 不思議なちからがあります

森を歩いていると清々しい気分になります。
木のやさしい手触りにやすらぎを感じます。
木は、人に癒しをもたらします。

木は呼吸しています

木は湿度が上がると湿気を吸い込み、
湿度が下がるとそれを放出する調湿機能があります。
心地よい空間をつくり、わたしたちを包んでくれます。



木にはぬくもりがあります

木は熱を伝えにくい性質があり、保湿性、蓄熱性にも
優れています。夏はひんやりとして、冬は冷たさを和らげます。
木にはぬくもりがあります。



木は遮音性が高く、耳に心地よい 吸音性を持っています

木は高音・中音・低音をバランスよく吸収して、音をまるやかにする
性質があります。コンサートホールの内装や楽器に木がよく
使われるのは、やさしい音を響かせる特長を持っているからです。

桐朋学園宗次ホール / Photo: 前田建設・住友林業共同企業体

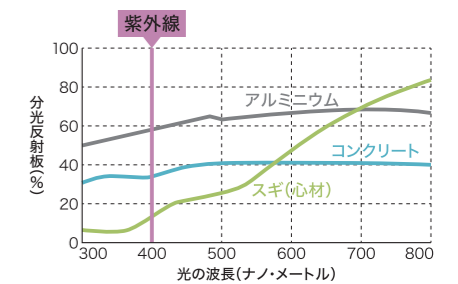


木は紫外線を吸収する 目にやさしい素材です

木は細胞構造による微小な凹凸があり、それにより
光が散乱されます。紫外線を吸収し、赤外線を反射することで、
目にやさしく、あたたかさを感じさせてくれます。

資料:「木を生かす」(財)日本木材備蓄機構

▶ 木は目に有害な紫外線をよく吸収します



木には オスモカラー

オスモカラーは、自然の植物油と植物性ワックスを
ベースにした人と環境にやさしい自然塗料
木によく浸透して、
自然の木の美しさを表現します



オスモカラーラボチーム



オスモカラーは木の専門家であるドイツオスモ社が開発した木を活かす自然塗料です

なぜ、オスモカラーが 選ばれるのでしょうか？

その答えは、「植物油」と「浸透性」にあります。

オスモカラーは、 「植物油」で木によくなじみます

木は植物で、もともと油分を含んでいます。
だから、植物油からできたオスモカラーが木によくなじむので
木のやさしい手触り、やすらぎを感じます。



オスモカラーは、「浸透性」です

オスモカラーは浸透性タイプの木材保護塗料です。
オスモ社独自の高度な技術で精製された植物油は、
木によく浸透し、木と一体化します。
木と一体化することで、木のありのままの表情、風合いを活かし、
木をより美しく仕上げます。
また、木の美しい経年変化を促進させます。



オスモカラーは、 木の呼吸を妨げません

木は自然に湿気の吸収・放出を繰り返し、室内の湿度を
調整する調湿機能を持っています。
オスモカラーは、水性塗料のように膜を張らず、木によく浸透して、
木の呼吸を妨げません。木の持つ調湿機能を活かし、
木のぬくもり、肌触りをありのままに感じることができます。



オスモカラーは、 メンテナンスが簡単です

オスモカラーは浸透性の塗料なので、
塗装面に膜を張らず、メクレ、ハガシがありません。
塗装面に傷がついても、サンドペーパーをかけ、
その箇所に塗り重ねるだけで十分です。



OSMO COLOR
REPORT

オスモカラーは木の触り心地の
良さを活かします

オスモカラーを塗装すると、木の魅力である触り心地の
良さを活かせる事が、山形大学の研究によって実証され
ています。

ISO9001品質規格、ISO14001環境規格を取得



スタイリッシュ木造校舎

CASE STUDY 01

昭和学院小学校

所在地：千葉県市川市 設計：日建設計

内装木部：#3111ホワイトスプルー + #3101ノーマルクリアー 混合色
外装木部：#733ヘムロックファー + #900ホワイト + 外装用クリアープラス

昭和学院小学校新校舎「ウェスト館」。
SDGsの考え方のもと、CLT工法により、大きな木材を使わず環境負荷を低減しています。
また、柱や階段が、木目がふんだんに見えるデザインになっており、スタイリッシュでありながらも木のぬくもりがたっぷり感じられる空間を実現しました。床は、オスモカラー塗装したオスモフローリングを採用。



木の学校づくり先導事業

CASE STUDY 02

おおぐろの森小学校

所在地：千葉県流山市
設計：日本設計

外装木部：ウッドステインプロテクター混合色
外装用クリアープラス

人口増加率全国1位の流山市で、県内の木材産業の活性化に貢献し、子どもたちの社会学習の材料として木材を活用することで、学びの機会を増やし、ESDやSDGsにつながることをめざしたおおぐろの森小学校校舎。文部科学省による平成29年度「木の学校づくり先導事業」に選定され、地域の人たちとともに木について学びながら計画された建物です。▶ ESD：持続可能な開発のための教育



耐候性

CASE STUDY 03

町立戸河内小学校

所在地：広島県山県郡安芸太田町
設計：(株)あい設計 山口支社

内装木部：#1101エキストラクリアー
#3101ノーマルクリアー
外装木部：ウッドステインプロテクター
#702ラーチ / #707ウォルナット

内外装にふんだんに地域産材を使用した2階建ての美しい木造校舎。改修の際、耐候性を考慮して保護力のあるオスモカラーを選択されました。適度なつやがあり、色もしっかりついた美しい仕上がりになりました。



美しい音楽

CASE STUDY 04

桐朋学園宗次ホール

所在地：東京都調布市
基本設計・デザイン監修：隈研吾建築都市設計事務所
実施設計：前田建設・住友林業共同企業体

内装木部：#1211ホワイトスプルー
#1101エキストラクリアー 調色

日本を代表する音楽大学、桐朋学園の音楽ホールで、CLTを意匠・構造・音響の材料として木質感あふれる大空間を実現しています。CLTの内装壁と天井の仕上げに、オスモカラーが採用されました。

▶ 令和3年度木材利用優良施設コンクール林野庁長官賞受賞



Photo：前田建設・住友林業共同企業体



Photo：前田建設・住友林業共同企業体

由緒ある歴史

CASE STUDY 05

明倫学舎

所在地：山口県萩市
設計：(株)金子信建築事務所

内装木部：#1101エキストラクリアー フロアーカラー 混合色
外装木部：ウッドステインプロテクター 混合色

藩校明倫館跡地にあり、近年まで授業が行われていた旧明倫小学校。この、今は秋の物語を伝える学舎の改修にあたっては、歴史的建造物の改修ということから、仕上がり感や発色が重要なポイントでした。標準色では表現できず、塗装店と相談しながらイメージ通りの混合色をつくり出すことができました。



大規模建築

CASE STUDY 06

長門市庁舎

所在地：山口県長門市
設計：(株)東畑建築事務所 /
藤田建築設計事務所
M・DESIGN ASSOCIATES

内装木部：#1101エキストラクリアー
外装木部：外装用クリアープラス

国内初の5階建て耐火木造庁舎であり、今後の積層型大規模公共建築物の木造化をけん引するプロジェクトになることを目指した長門市庁舎。市民の安全・安心の拠点として、利用しやすく親しみのある庁舎を実現しました。木造庁舎としては最大規模となる延べ面積7,000㎡超の建物にオスモカラーが採用されました。



本の森

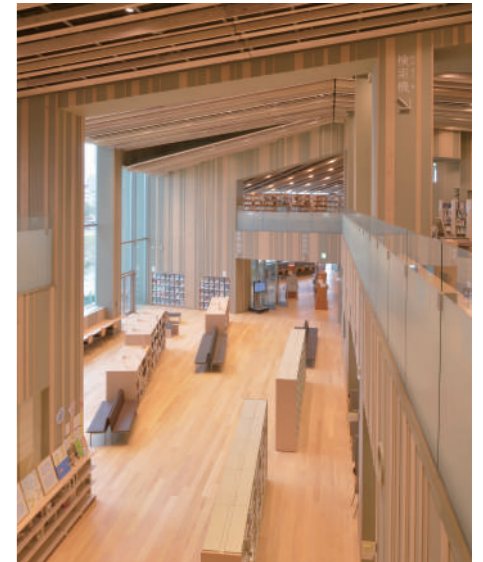
CASE STUDY 07

守山市立図書館

所在地：滋賀県守山市
設計：隈研吾建築都市設計事務所

内装木部：ワンコートオンリー#1211ホワイトスプルース
外装木部：ウッドステインプロテクター / #900ホワイト

森を散策するように、本や人と出会い、木漏れ日の中で学ぶ。図書館が、街の生活の一部となるよう、市民や地域に開かれるようにデザインされています。「本の森」をイメージして設計されており、地元滋賀県産の杉材を使用し、内外装木部の塗装にオスモカラーが採用されました。



木のやわらかさ

CASE STUDY 08

津名図書館

所在地：兵庫県淡路市
設計：昭和・多田設計共同

内装木部：#1211ホワイトスプルー
#1101エキストラクリアー 混合色

人と人のつながりを誘い、活動を育てる新たな場所として生まれた津名図書館。読書を楽しむだけでなく、展示や工作、音楽会などのさまざまな企画が、市民やサポーターとの協働で次々と実現しています。その舞台は、木質感にあふれた明るくやわらかな空間。ゆるやかな曲面の天井に張られた杉材にオスモカラーを採用、木の風合いや香りが利用者の感性を刺激しています。



Photo: Yohei Sasakura

木の陰影

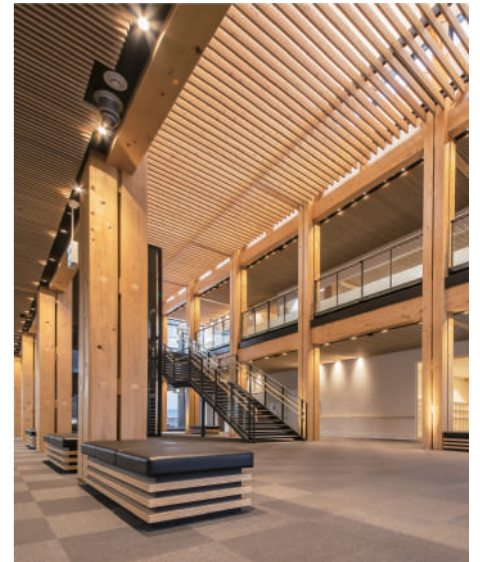
CASE STUDY 09

落合総合センター

所在地：岡山県真庭市
設計：(株)東畑建築事務所

外装木部：外装用クリアープラス

市役所支所・保健センター・公民館・図書館と既存体育館を複合した地域交流施設。メインファサードの、210mm角の一般製材を4本束ねた列柱が印象的です。木の質感による深い陰影が、地域交流の拠点にふさわしい親しみやすい表情を生み出しています。



木のぬくもり

CASE STUDY 10

ぎふ木遊館

所在地：岐阜県岐阜市
設計：(株)デザインボックス

内装床：#3062フロアークリアーつや消し
内装壁：#1101エキストラクリアー
外装：外装用クリアープラス

日本を代表する森林県である岐阜に、ぎふ木育30年ビジョンのもと生まれた木育施設で、五感にはたらきかけることで子どもたちの豊かな感情を育むことをめざしています。
コンセプトは「木のぬくもりと香りあふれる建物」。
地域の木材会社と家具会社、そしてオスモカラーによってコンセプトを実現できたことにご満足いただいています。



都心の風景

CASE STUDY 11

兵庫県林業会館

所在地：兵庫県神戸市
設計：(株)竹中工務店

外装CLT部分：外装用クリアープラス

県内の林業関係団体が入るテナントオフィスビル。
構造上の耐震パネルとして使用しているCLTを、
外装のガラスサッシ越しに街並みに表出させ、
木質のあたたかい表情をたたえた外観になっています。
オフィスの内壁のCLTについても、
木の色が日光によって退色することがないよう、
オスモカラーのクリアーで表面を塗装しています。



古都平城宮

CASE STUDY 12

平城宮跡歴史公園

所在地：奈良県奈良市
設計：(株)ニュージェック

内装木部：#3032フロアクリアー /
ワンコートオンリー#1262チーク
外装木部：ウッドステインプロテクター / #726パークグレー

平城宮跡歴史公園は、高い耐久性が求められ、適切な塗装仕様をご提案し採用された事例です。“奈良時代を今に感じる”“楽しみながら快適に過ごせる”をコンセプトに、品格やにぎわいのある空間をめざし、色合いは、木質の肌を生かした落ち着いたある仕上がりとなりました。合計塗装面積は、20,000㎡を超えています。



富士北麓公園

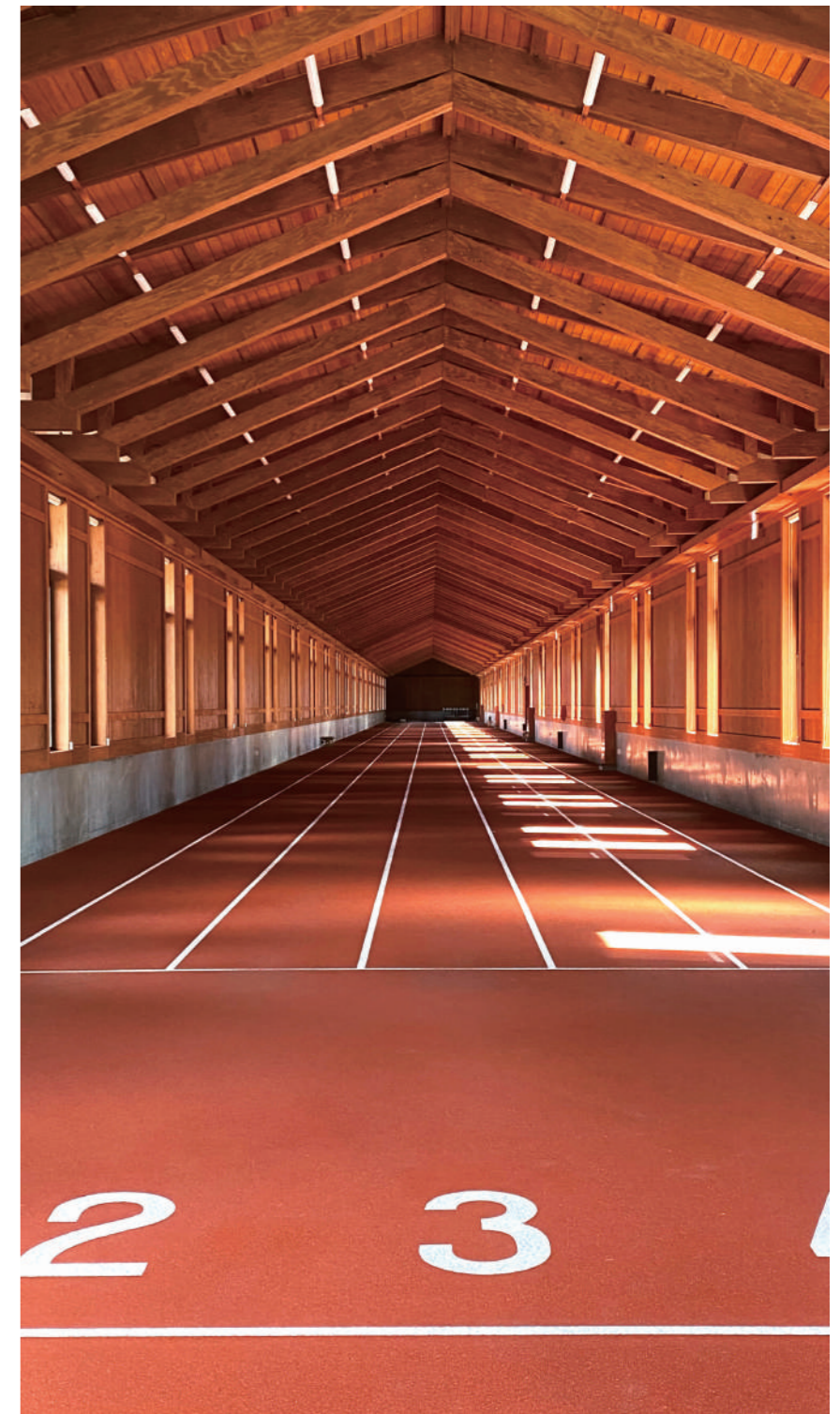
CASE STUDY 13

富士北麓公園 練習走路

所在地：山梨県富士吉田市
設計：(株)三宅建築設計事務所

外装木部：ウッドステインプロテクター
#728レッドシーダー

大規模木造建築であることと富士山の麓という立地であることから、耐久性が高い木材保護塗料であり環境にやさしい自然塗料であることが採用のポイントでした。塗装後の仕上がりも、着色でありながらも木のナチュラルな雰囲気が残っています。



潮風と雪

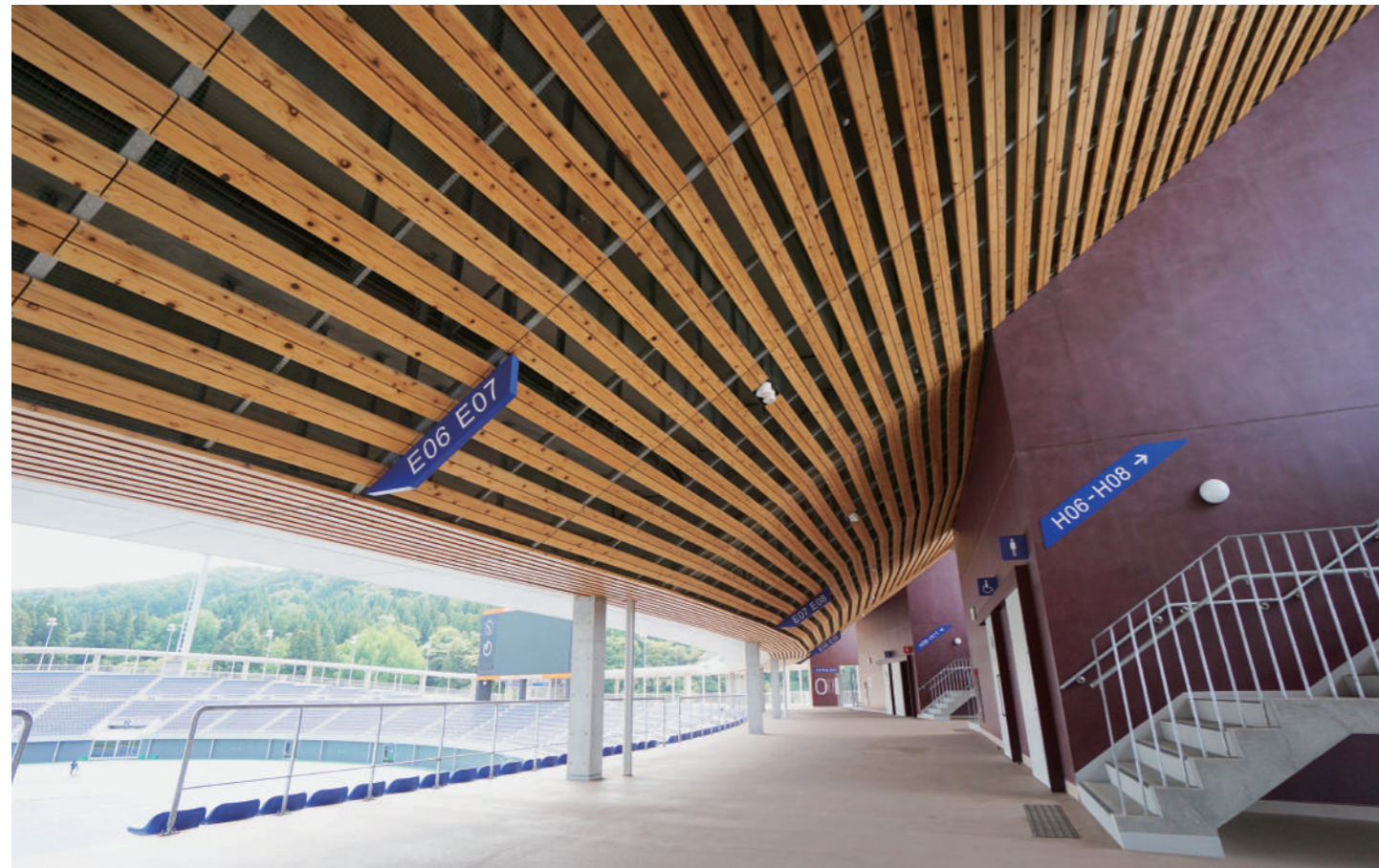
CASE STUDY 14

新青森県総合運動公園 陸上競技場

所在地：青森県青森市
設計：伊東豊雄建築設計事務所

外装木部：ウッドステインプロテクター#702ラーチ
外装用クリアープラス

世界有数の豪雪都市青森に誕生した
自然と一体化したオープスタジアム。
強い風雪に耐える工夫が随所に見られます。
1階メインスタンドコンコースは、
CLTの大屋根の下、スタンド軒天井の県産スギによる
木ルーバーと外壁のレンガタイルが
明るく温かみのある雰囲気を生み出しています。



砂浜

CASE STUDY 15

嘉之助蒸溜所

所在地：鹿児島県日置市
設計：(株)東条設計

外装木部：ウッドステインプロテクター
#733ヘムロックファー

2017年に始動した日本のウイスキー蒸溜所。
鹿児島県の西岸、吹上浜沿いの9,000㎡の広々とした
敷地に施設が点在しています。
基材には、耐候性の高いレッドシダーを採用。
木の風合いを残しながらも、
蒸溜所の眼前に広がる砂浜に同調させるべく、
オスモカラーを塗布しています。



世界ジオパーク

CASE STUDY 16

Entô (エントウ)

所在地： 島根県隠岐郡海士町 設 計： MOUNT FUJI ARCHITECTS STUDIO

内装木部： #1233ヘムロックファー + #1241オーク + #3062フロアークリアーつや消し 混合色
外装木部： #1233ヘムロックファー + #1241オーク + 外装用クリアープラス

隠岐ユネスコ世界ジオパークの「泊まれる拠点施設」として、日本海に浮かぶ小さな島に誕生したのがEntôです。海に面する低層のホテルは、目の前にひろがるジオパークの風景の中にいると感じられるようにデザインされています。最小限の工程での施工を実現する「CLT工法」を採用、離島でのCLT建築という意味でも注目されています。内外装木部にオスモカラー、さらに内装床にはオスモフローリングが採用されています。



Photo： 鈴木研一写真事務所



Photo： 鈴木研一写真事務所



Photo： 鈴木研一写真事務所



暮らしの理想をドイツから
OSMO & EDEL オスモ & エーデル株式会社

本 社	〒673-1111 兵庫県三木市吉川町上荒川 748-6	Tel (0794)72-2001	Fax (0794)72-2000
東 京 支 社	〒160-0023 東京都新宿区西新宿 1-20-2 西新宿室町ビル 11F	Tel (03)6279-4971	Fax (03)6279-4970
名古屋支社	〒461-0001 愛知県名古屋市東区泉 1-14-23 ホワイトメイツ 2F 201	Tel (052)253-9221	Fax (052)253-9226
東北営業所	〒981-1105 宮城県仙台市太白区西中田 5-25-12 32BASE101	Tel (022)797-3951	Fax (022)797-3950
九州営業所	〒838-0125 福岡県小郡市ニタ 1264-7	Tel (0942)48-4755	Fax (0942)48-4750

